

第7号 稲作防除特報 (中生・晩生版)

令和3年7月16日
朝 日 町
黒東地域農業技術者協議会

～斑点米カメムシ類の発生に注意！被害防止に努めましょう～

収量や品質低下につながる斑点米カメムシ類や紋枯病、いもち病などの基本防除を徹底し、被害の発生防止を図りましょう。

特に、斑点米の要因となるカメムシ類は、本年も畦畔や雑草地で増加していることから、適期防除に努めましょう。



アカスジカスミカメ

▷「コシヒカリ」及び「てんこもり」などの基本防除

		「コシヒカリ」、 「ミルキークイーン」など (中生)	「てんこもり」など (晩生)
1回目 走り穂	防除日	7月31日(土)～8月2日(月)	8月3日(火)～8月5日(木)
	農薬名	ブラシントレバリダ粉剤DL (いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	
	散布量	4kg/10a	
2回目 穂揃期	防除日	8月7日(土)～8月9日(月)	8月10日(火)～8月12日(木)
	農薬名	ラブサイドキラップ粉剤DL (いもち病、カメムシ類、ウンカ類)	
	散布量	4kg/10a	

※ 1回目及び2回目防除の間隔は、10日以上あけ過ぎないようにしましょう。

※ 無人ヘリコプターの散布予定時期は、折込みチラシなどで別途ご案内します。

○薬剤散布時の留意点

- ・ 1回目の防除は、株元に薬剤がかかるように落水状態で散布しましょう。
- ・ 使用基準を厳守し、周辺作物への農薬飛散防止に努めましょう。また、露のあるときや稲の開花中の散布は避けてください。
- ・ 水田周辺（畦畔や雑草地など）にも、薬剤がかかるように散布しましょう。

○ほ場管理時の留意点

- ・ 斑点米カメムシの被害を助長する、水田内のノビエやホタルイなどの雑草は抜き取りましょう。
- ・ 畦畔などの雑草も、斑点米カメムシ類のすみかとなるため、雑草の穂が出ないように管理しましょう。